

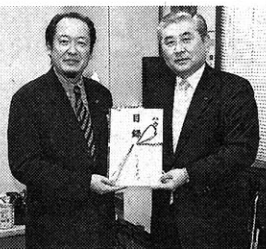
岩手日報

発行所
岩手日報社
岩手県盛岡市丸3番7号
電話 020-8622
代表 019(653)4111
振替口座 02360-6-20番
©岩手日報社2013

伊藤園が一本松
保存募金に寄付

陸前高田

伊藤園(東京)は8日、陸前高田市の「奇跡の一本松保存募金」に50万円を寄付した。同



戸羽太市長へ募金を寄付する相馬藤嗣営業本部長(右)

日は市内で「おいしいお茶のいれ方セミナー」も開催し、継続的な支援を誓った。

相馬藤嗣執行役員北

海道・東北地域営業本部長が市役所を訪れ、戸羽太市長に「一本松は復興のシンボル。これからも頑張っしてほしい。少しでも力になりたい」と伝えた。

戸羽市長は「募金は

多くの人が参加してくれることで、一本松のことを覚えていただけると感謝した。

同社は2月に社員に募金を呼び掛け、寄付金に充てた。同日は米

崎小で6年生向けに「おいしいお茶のいれ方セミナー」を開催。これまでに同市や大船渡市、釜石市などで41回のセミナーを開き、被災地支援を行っている。

児童の笑顔 傘で広がる



陸前高田 米崎小 NPO法人が印刷

NPO法人MERRY PROJECT(東京都、水谷孝次代)は8日、陸前高田市米崎町の米崎小(佐藤圭子校長、児童16人)に同校児童の笑顔

を印刷した傘を

持参し、子どもたちを喜ばせた。

水谷代表(61)が、同校1年生の保育園時代の笑顔などを印刷した傘50本を持参。校庭で6年生に持ってもらう写真撮影している

と、校舎内の1年生が「僕の顔だー」などと

「頑張りたい」と誓った。児童は保存会(畠山務会長)から指導を受け、運動会や学習発表

笑顔がプリントされた傘と一緒に写真撮影する米崎小の児童

~~~~~  
気付き、校庭に飛び出してきたため全員で撮影した。水谷代表は「子どもたちの笑顔が、陸前高田の未来の希望になってほしい」と願いを込めていた。

同法人は東日本大震災後、岩手、宮城、福島県の3県で同様の活動を続けている。